

第65回 定時株主総会

2023年10月26日（木）

株主の皆様へお願い



会場内では、
スマートフォン・タブレットなど情報
機器の電源をお切りいただくか、
マナーモードへの設定をお願いいたし
ます。

会場内での
「喫煙」、「撮影」、
「録音」は ご遠慮下さい。



入場票のご説明

- ご出席番号票は、株主総会終了までお持ち下さい。
- ご発言の際は、ご出席番号票に記載の番号とお名前をお申し出下さい。
- 再入場の際は、ご出席番号票が必要となります。ご出席番号票を受付にてご提示下さい。

開 会

監査報告

「連結計算書類に係る会計監査報告」

「計算書類に係る会計監査報告」

「監査等委員会の監査報告」

につきましては、

招集ご通知41ページから46ページに
記載の通りでございます。

➤事業報告

1.企業集団の現況に関する事項

2022年8月1日から2023年7月31日までの

- (1) 当事業年度の事業の状況
- (2) 財産及び損益の状況の推移
- (3) 重要な親会社及び子会社の状況

につきましては、

招集ご通知15ページから17ページに記載の通りでございます。

(4) 対応すべき課題



(4) 対処すべき課題

パーパス (存在意義)



わたしたちの働きで、
社会のインフラを支え、
人々の暮らしの安全、
便利な社会の実現に
貢献します

「当社の加工技術」による社会貢献





(4) 対処すべき課題

ビジョン (将来のありたい姿)



100年継続企業
すべての点で常に業界の
トップを目指します。



ミッション (使命・目的・役割)



絶えざるチャレンジによって
「できないをできる」に変え、
新たな価値を創造し、社会の
発展に貢献します。



バリュー (大切にしている価値観)



会社の発展と働く者の発展を
一致させ、会社、働く者が所属
する地域社会の発展に貢献し
ます。



(4) 対処すべき課題

対処すべき課題の詳細につきましては、
招集ご通知の17ページから19ページに記載の通りでございます。

➤中長期的な会社の基本戦略として、
持続的な成長を果たしていくために、
これらの施策を推し進めてまいります。

1.企業集団の現況に関する事項

2022年8月1日から2023年7月31日までの

- (5) 主要な事業内容
- (6) 主要な営業所及び工場
- (7) 使用人の状況
- (8) 主要な借入先の状況
- (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

につきましては、

招集ご通知20ページから21ページに記載の通りでございます。

会社の現況並びに連結計算書類及び計算書類

2. 会社の現況

連結計算書類

計算書類

につきましては、

招集ご通知22ページから40ページに記載の通りでございます。

➤2023年7月期決算の状況と 2024年7月期決算の見通し



第3四半期連結累計期間以降在庫調整等の影響で 想定以上に需要が落ち込む

連結売上高

前期

9,453百万円

9,563百万円

(増減比+1.2%)

連結営業利益

前期

501百万円

205百万円

(増減比▲59.0%)

連結純利益

前期

355百万円

154百万円

(増減比▲56.7%)

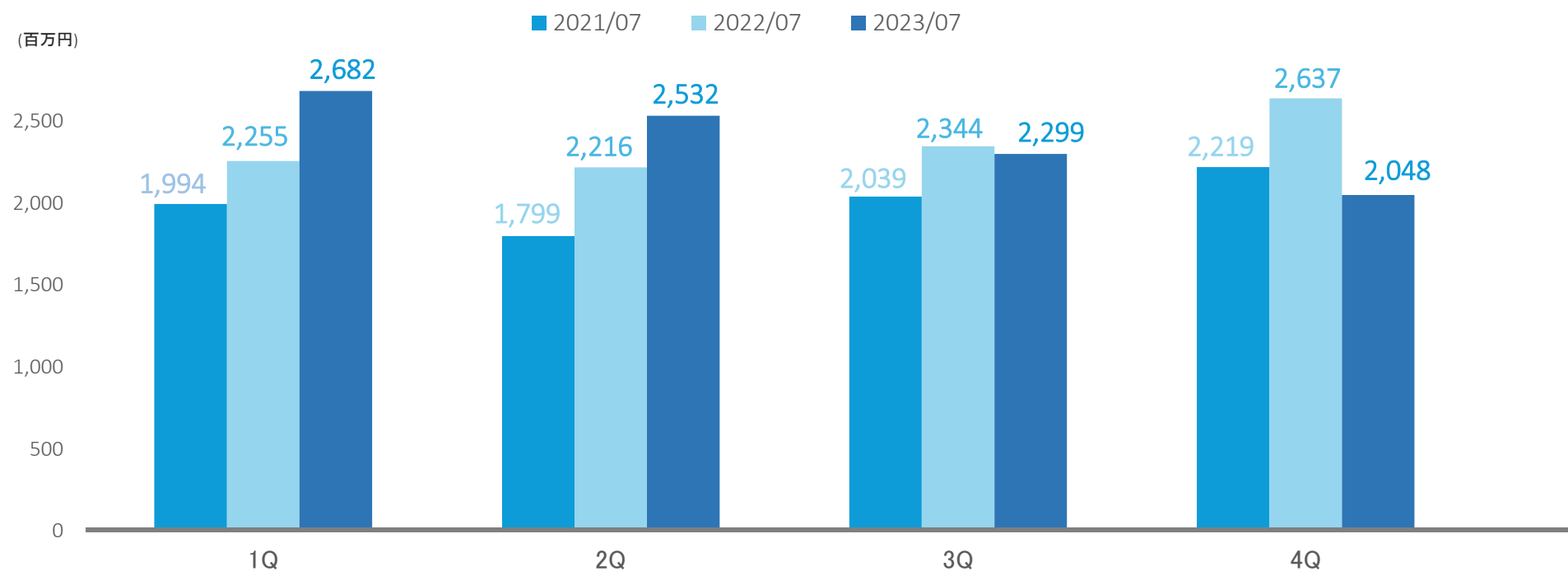
- ▶ 第2四半期連結累計期間まで堅調であった需要が、在庫調整等の影響で第3四半期連結累計期間以降は想定以上に落ち込む



四半期売上推移

第3四半期以降、需要落ち込みの影響を受ける

▶ 連結売上推移





短期的には踊り場

めっき技術は基盤技術として電子部品業界には不可欠、 急激な需要の変化に柔軟に対応

短期(2024年7月期)・中長期(2025年7月期～)

中長期的には、「社会のデジタル化」の進展で、電子部品の需要は着実に増加へ

※回復の兆しを早期につかむ...

緊迫した世界情勢の影響や
資材の高騰はあるものの
サプライチェーンの回復

コロナ禍で停滞した
半導体生産が回復

上期は引続き在庫調整が
継続するものの
下期の回復の兆候をつかむ



在庫調整終了後の需要回復を見込みむ

連結売上高

9,600百万円
(前期増減比率+0.4%)

連結営業利益

220百万円
(前期増減比率+7.0%)

連結純利益

160百万円
(前期増減比率+3.9%)

▶ 第2四半期連結累計期間後の市場の回復状況を想定

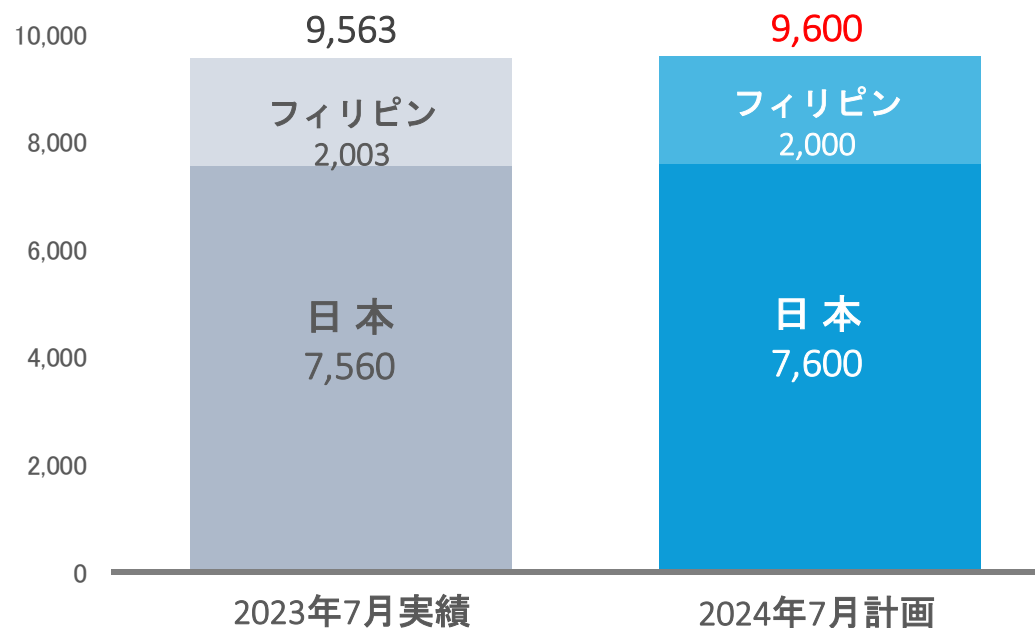
通期では日本、フィリピン共にほぼ前期同等を計画

日本

フィリピン

▶ 売上高

(百万円)

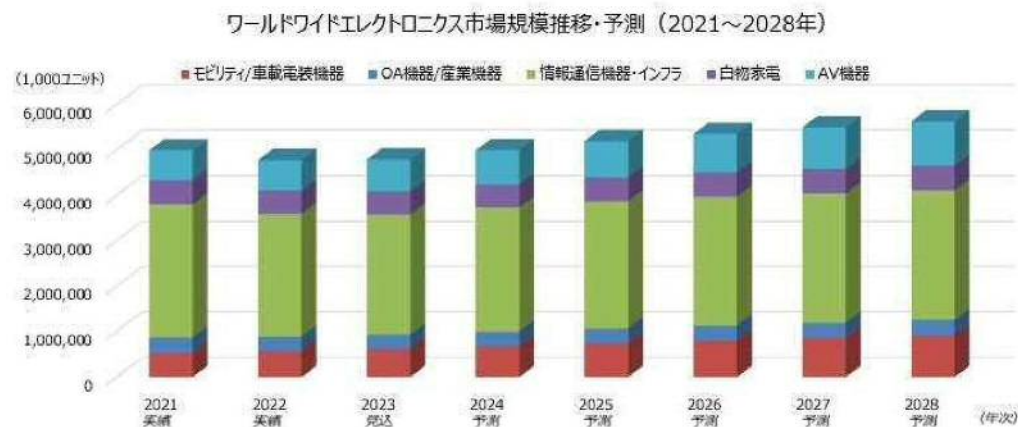


今後の方向性

- 中長期的な会社の基本戦略
- 持続的な成長を果たしていくために

市場全体としては成長余力は大きい

▶ 業界展望(ワールドワイドエレクトロニクス市場規模推移・予測)



中長期的には、自動車向け分野でのEV需要の高まり、産業機器向け分野におけるFA、ロボット、通信向け分野での5G投資の本格化など成長が期待されるが、回復の時期は市場により異なる見通し。

※富士キメラ総研「ワールドワイドエレクトロニクス市場総調査」より

電子部品の成長市場を逃さない

1
市場の成長を
確実に捕捉できる
商品力と体制整備

商品力
差別化・品質

生産性
コスト低減・稼働率

開発力
技術力・付加価値

安定したキャッシュフローを生む財務基盤の確立

2
市場の最新動向を
素早く把握する
「情報収集力」の強化

情報収集(フォロー)

電子部品発注

プレス＋
めっき加工

電子部品
開発・製造

事業戦略

当 社

電子部品メーカー(主要顧客)

最終ユーザー

プレス・めっき一貫加工体制、微細加工品の量産

1
めっき加工技術の
進化と
多様化をリード

小型化、高密度化する部品市場の
技術要求に対応

2
環境負担軽減に
対応した
グローバルな品質

欧州中心に諸外国での厳しい
環境基準をクリア

3
国内主要電子部品メー
カーと
安定した協力関係

国内主要顧客数十社との
売上比率は約80%で安定

「めっき加工」の用途拡大と高難易度に耐えられる技術の多彩さと加工対応力



強みを生かした具体的対応策

ますます増加するめっき需要への対応力を強化

商品力強化

めっきライン新設による加工体制の強化

- ▶ 試作短納期対応
- ▶ 少量多品種対応
- ▶ 量産超高速化対応



プレス・めっき一貫生産強化

- ▶ 自動化の推進
- ▶ 隣地生産による受注力強化
- ▶ 敷地内の有効活用と物流の効率化を推進

コスト対応力強化

- ▶ めっき加工ラインの改造・新設
- ▶ めっき加工治具変更、材料使用量の管理強化による材料費低減
- ▶ 東北事業部（工場）で太陽光発電を活用

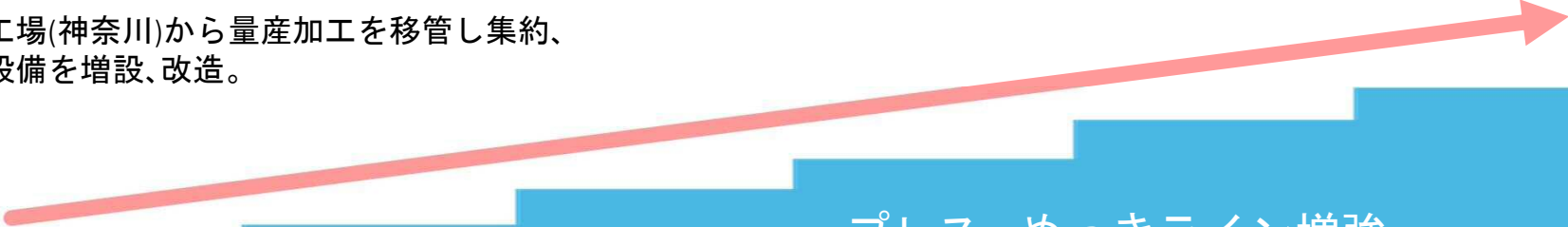
開発力強化

- ▶ 既存分野の研究・開発機能の強化
- ▶ 人材育成の強化



グループ最大の生産拠点のさらなる充実

鈴川工場(神奈川)から量産加工を移管し集約、
量産設備を増設、改造。

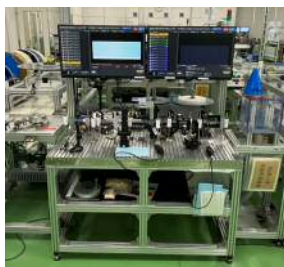


プレス、めっきライン増強
一貫比率を上昇させ、サービスを向上

さらに増設へ



▶ 高難易度製品に対応可能な加工技術、設備対応を随時推進



▶ 省人化投資と生産能力増強



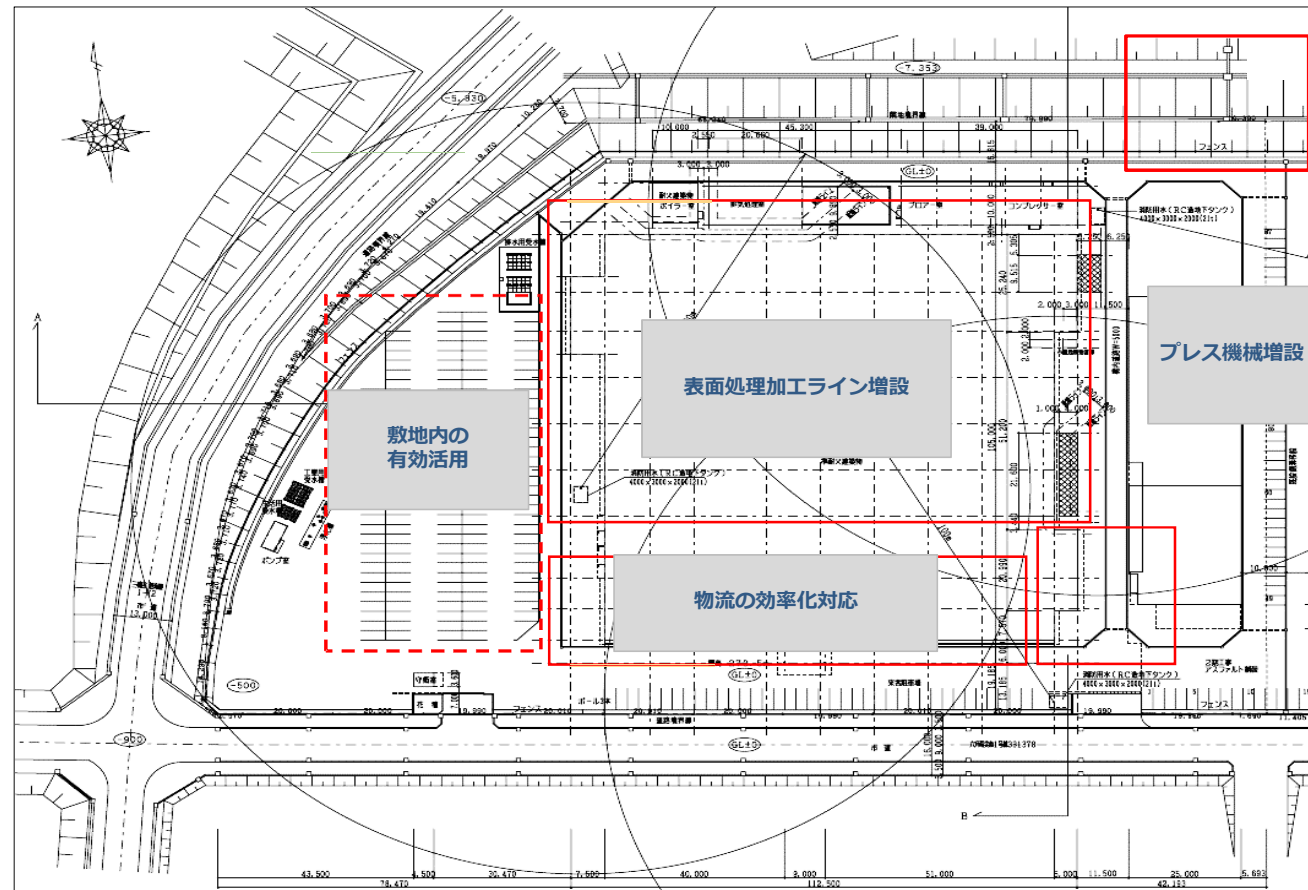
東北事業部の施設拡充計画



(福島県郡山市)

- ・設備の拡充
- ・物流の効率化
- ・生産設備の新設

プレス・めっき
一貫加工体制の強化
(生産の垂直統合)

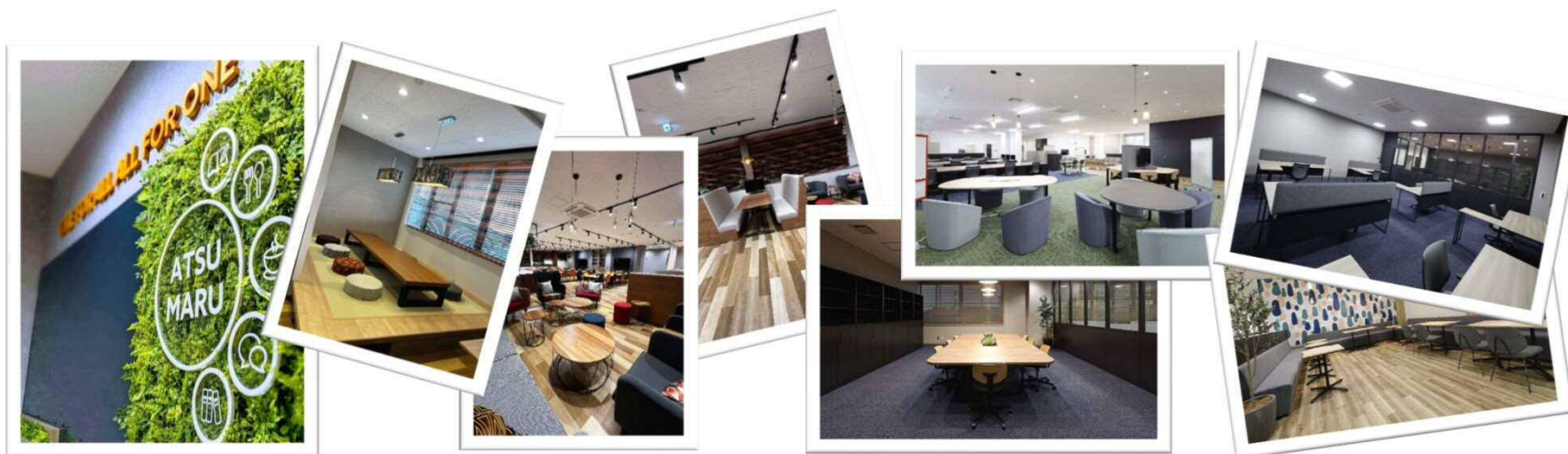




東北事業部の改善を本社に展開

① 食堂の刷新 ② オフィスの刷新

業務の生産性向上を目指すとともに、社内コミュニケーションの円滑化を図ることができるオフィスづくりを推進





脱炭素化に向けた取り組み（基本理念とシステムの概要）

基本理念

株式会社山王は、地球環境の保全に努め、次世代に引き継ぐことが人類の果たすべき共通の使命と自覚し、当社の活動、製品およびサービスは環境への配慮を確実にします。

システムの概要

創エネ(太陽光パネル)



太陽光パネル711KW

- ・めっき棟479KW
- ・プレス棟232KW

▼
発電によりCO2及び電力を削減

蓄エネ(蓄電池)



蓄電池:159kwh 産業向け蓄電システム

▼
使用電力の多い時間帯の使用量を削減するピークカットにより、電力使用量を低減します。また災害発生時等停電時の非常用電源としてBCP対策にも活用します。

省エネ(EV充放電器・エネルギーマネジメントシステム：EMS)



EV充放電器6台・EV2台

▼
社用車の電気自動車EV化を進める事でCO2を削減します。また災害等停電時にはEVからオフィスへの非常用電源としてBCPにも活用します。



エネルギーマネジメントシステム：EMS

▼
エネルギー使用状況を把握した上で、最適な利用を実現するシステム(EMS)の導入で充放電の制御を実現します。電力使用量/発電量の可視化・最適化を実現します。

【2023年3月14日リリース参照】 <https://www2.jpx.co.jp/disc/34410/140120230308527345.pdf> <https://www2.jpx.co.jp/disc/34410/140120230308527346.pdf>

脱炭素化に向けた取り組み（導入効果とサステナビリティ対応）

導入効果



- ①「再生可能エネルギーの活用でCO2を削減」
- ②「創エネ、蓄エネ、省エネ推進で経済性を向上」
- ③「災害時には非常用電源を確保でき、BCP対策にも寄与」



太陽光発電システム

東北事業部敷地内に711kW(出力)の太陽光パネルを設置しました。
これによりCO2削減を進めるとともに、余剰電力を蓄電池に蓄電することでエネルギーの効率的な活用を図ります。

蓄電池システム

出力50kW、容量159kWhの産業向け蓄電システムを設置しました。使用電力の多い時間帯の使用量を削減するピークカットの実現により、電気使用量の低減を図ります。
また災害発生等停電時の非常用電源としてBCP対策にも活用します。

EV充放電器システム

出力5kW×6基の充放電器システムを設置しました。
電気自動車(EV)の充電に加え、災害発生等停電時の非常用電源としてBCP対策にも活用します。

気候変動などの地球環境問題、人権の尊重、従業員の健康・労働環境や公正・適切な処遇、取引先との公正・適正な取引、自然災害等の危機管理など環境や社会への「サステナビリティ(持続性)」に配慮します。

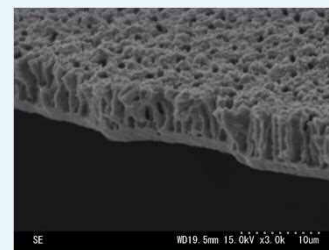
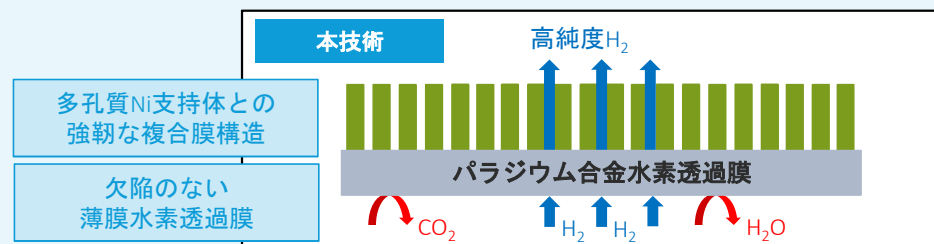
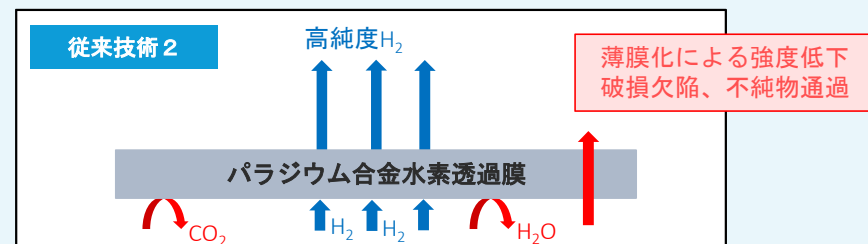
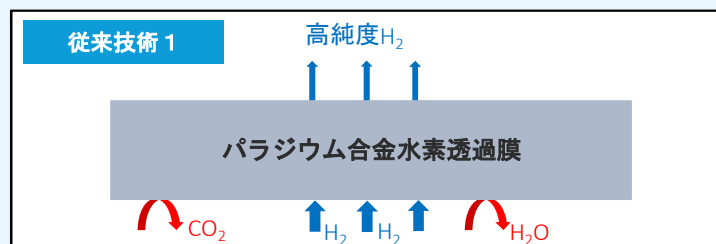
2015年パリ協定で定められた産業革命以降の気温上昇を2℃未満(もしくは1.5℃未満)に抑えるという国際的な目標に対し、温室効果ガスの排出削減を「4.2%/年(5年先目標)」の実現に向けグループ全体で取り組みます。



全国鍍金組合連合会 優良環境事業所

新規事業の状況①

当社のパラジウム合金めっき技術を応用し、東京工業大学ゼロカーボンエネルギー研究所、産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所との共同開発により、複合膜構造を有した水素透過膜めっき技術を開発。更なる高性能化を進めています。



水素透過膜論文の掲載

国際学術誌「Inorganics」2023,11,111に掲載

題名：Collectable Single Pure-Pd Metal Membrane with High Strength and Flexibility Prepared through Electroplating for Hydrogen Purification

(邦題：水素精製のための高い強度と柔軟性を備えた回収可能な電気めっきによる純パラジウム単膜の成膜)

掲載URL <https://www.mdpi.com/2304-6740/11/3/111>

日本材料科学会「材料の科学と工学」Vol.60 No.1 2023年2月20日発行に掲載

題名：ウエットプロセスによる薄膜水素透過膜の開発

パラジウム系膜での水素透過の原理や、パラジウム－銅合金膜の作成プロセス、
パラジウム－銅合金膜の水素透過度、薄膜化によるパラジウム使用量削減の評価などをはじめ、ウエットプロセスによる水素透過膜の開発事例を紹介

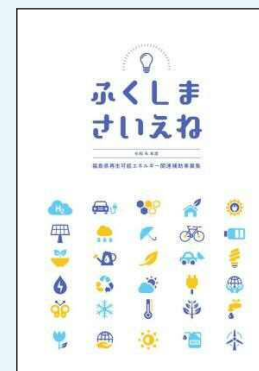
福島県「ふくしまさいえね 令和4年度福島県再生可能エネルギー関連補助事業集」に掲載

再生可能エネルギー事業化実証研究支援事業として、水素製造装置における水素精製用めっき水素透過膜を紹介

詳細は以下URLを参照

「ふくしまさいえね」

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/fukushima-saiene/jugyoushuu.html>



加工設備の増強・成長市場への集中投資

加工設備、増強

自動化による省人化、デジタル化の推進

プレス+めっき一貫受注の強化

営業・マーケティング力の強化

品質管理の強化

新規事業の推進

働き方改革の推進

2022年7月期

2025年7月期

2024年7月期

2023年7月期

成長市場

Industrial Innovation
自動化の加速 スマートファクトリー化

Carbon-neutral
「グリーン×デジタル」の社会実装

Connected Society
5Gの普及 Beyond 5Gへの進化

Safe Mobility
ADAS/自動運転 Connectedの加速

Air, Space, and Ocean
ドローンや民間宇宙ビジネスの加速



配当政策

2024年7月期も1株当たり年間配当10円を予定

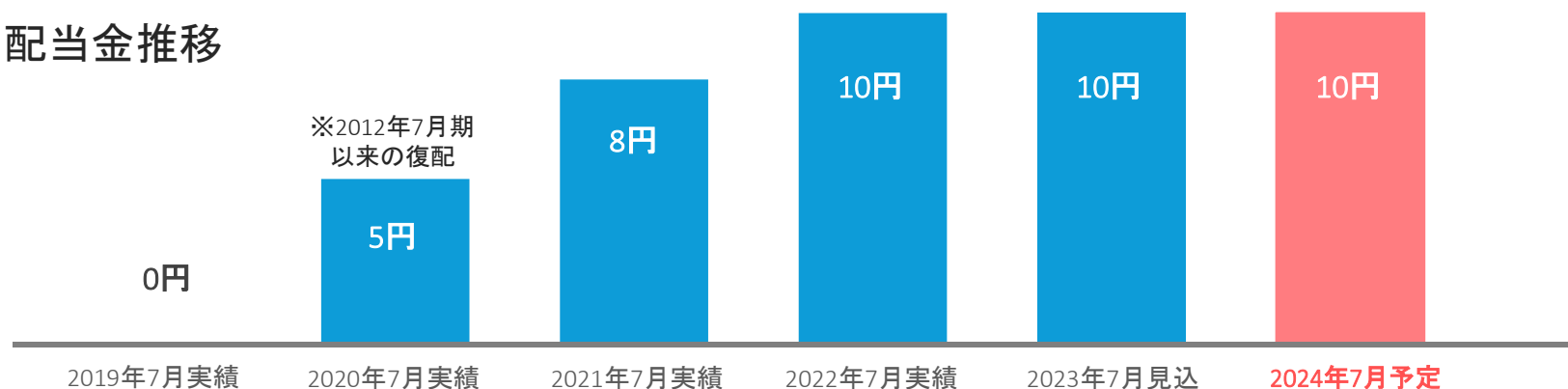
収益性の
継続的な向上が
実現

受注が安定、
業績が回復し、
配当を継続的に
増配できる体質へ

2023年7月期
年間10円
を維持

今後も安定した
株主還元策を
行う方針

▶ 配当金推移



➤ 決議事項

第 1 号議案

剰余金処分の件

期末配当に関する事項

剰余金の配当につきましては、
当期の業績並びに今後の事業展開等を勘案し、
以下のとおりといたしたいと存じます。

配当金の種類

金銭

配当資産の割り当てに関する事項及
びその総額

当社普通株式1株につき金10円
配当総額46,157,520円

配当金の配当が効力を生じる日

2023年10月27日

第2号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件

1 こうやま ふみなり
 甲山 文成
 (現任)

2 みうら ひさし
 三浦 尚
 (現任)

3 あらまき たくや
 荒巻 拓也
 (現任)

4 いのうえ てつや
 井上 哲也
 (現任)

5 はまぐち かずお
 浜口 和雄
 (現任)

6 ひぐち まさのぶ
 樋口 雅信
 (現任)

第 3 号議案

監査等委員である取締役 3 名選任の件

1 わたなべ かずひさ
渡邊 和久
(現任)

2 ひ ご はるき
肥後 治樹
(現任 社外 独立)

3 かみお さとし
神尾 諭
(現任 社外 独立)

➤ ご発言 ・ ご質問

お願い

ご質問のある株主様は挙手いただき、指名されましたら左右いずれかのマイクにお進み頂きご質問下さい。

- ご出席番号票に記載の番号とお名前をお知らせ下さい。
- 関連質問も含めて
お一人様3問までのご質問で お願い致します。

➤ 議案採決

決議事項 第1号議案

剰余金処分の件

決議事項 第2号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件

決議事項 第3号議案

監査等委員である取締役3名選任の件

閉会

第65回 定時株主総会

ありがとうございました。
これからも株式会社山王を引続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

人々を笑顔に、暮らしを豊かに、技術で未来につなぐ



3441・東証スタンダード